

# 経営の悩みを削除 「HIT-GS」「どら猫」 運賃交渉にも一役

## ホリバアイテック

安全運行管理に省燃費走行、業務の効率化やCS向上。ホリバアイテック（岩見五郎社長、東京都千代田区）が販売する「HIT-GS」は、運送事業者のニーズにこたえた自動車運行管理システム。

代理店での開発、販売を手がけるピーデーエス（本間義朗社長、四日市市）が、ト協の会員を対象に実施した「デジタルコセミナー」に参加した。

## 運転者支援し 安全運行促す

ホリバアイテックの山崎公喜氏は「HIT

「GS」を詳しく説明。集まった約五十人の会員は興味深く聞き入っていた。

「HIT-GS」とは工事やメモリーカードが不要なうえ、カスタマイズもできる運行管理システム。出庫から帰庫までの運行状況を記録しドライバーの安全・経済

運転をサポートする。実際に同製品を平成十五年から活用している中田商事（伊賀市）の中田純一社長が、導入後の成果を解説。「機械を付ければ何かが変わるだろうという期待で装着したが効果が出てこなかった」という。同装置をどのように活用すればいいのかを考え、そこで「経費削減への入り口であ

り、経営革新へのヒントであることに気づいた」という。データを活用しながら社員教育、燃費の指導などで説明できるようになった。さらに一年分の同製品のデータを持っていき、運賃交渉をしたところ運賃の値上げにも成功。「導入しただけでは求める結果は出ない。データをいかに活用するかが重要」と締めくくった中田氏は、これを契機にコンサルタントも手がけていく。

## 事故発生時の データを記録

現在、ホリバアイテックが力を入れているのが「どら猫」。これは、速度の急激な変化や衝撃をキャッチすること、事故発生時の位置や時間データ、車速や加速度などを保存する機能を持つ。

ピーデーエスの本間社長によると、「今後は三重県だけでなく愛知県でも認知度を広げていきたい」と展望を語る。

（加藤 崇）



中田純一社長